

第3号 (2006年) 目次

ナベールの自我はいかに証しされるか ——証言の解釈学に向かって——	杉村 靖彦 (2)
エックハルトにおける愛の概念について ——アリストテレスの友愛論を手がかりに——	加藤 希理子 (18)
宗教間対話とポストリベラル神学を巡って	長谷川 琢哉 (28)
<書評> 佐藤卓巳著 『八月十五日の神話 終戦記念日のメディア学』 ——ラジオと、参加の記憶——	川口 茂雄 (42)